

物理学コース・物理学専攻 就職活動ガイド

2019年1月28日(月) 16:30 - @ 11号館110室
2020年4月就職希望者対象

1. 現在の就職環境など (マイナビ 甲斐さん)
2. 物理学コース・専攻の就職支援体制
3. 学校推薦のルール
3. 今年度の就職活動体験談

担当：2019年度就職委員(副) 田沼 肇

物理学コース・物理学専攻の 就職活動支援体制 (1)

- 就職委員：田沼 肇 (2013 -)
8号館526室, 内線 3355, 直通 042-677-2506
e-mail: tanuma@phys.se.tmu.ac.jp
元・大手電機メーカー社員, リクルーター経験有
(但し, バブル時代の1989-1991)
2020年度は柳さんに交代の予定
- 物理事務：岩元 真由美, 浅井 芳美
8号館222室, 内線 3211, 直通 042-677-2482
求人情報の整理, 掲示, サーバー管理

物理学コース・物理学専攻の 就職活動支援体制 (2)

- 掲示板： 物理事務室 (8号館222室) 前
- 関係資料： キャビネット (8号館291室前の廊下)
- ホームページ：<http://www.phys.se.tmu.ac.jp/job/>
物理学コース・物理学専攻 ホームページ
⇒「在学生へ」⇒「就職情報のページ」
2018年度版も参考になる。3/1より2019年度版に
- メーリングリスト：2014年度より運用
(システム構築は石崎さん)

物理学コース・物理学専攻の 就職活動支援体制 (3)

- メーリングリスト：

登録のため, 下記アドレスに空のメールを！

job2019-join@mail3.phys.se.tmu.ac.jp

物理教室からの情報はホームページがメイン。

緊急性の高いものはメーリングリストに流す。

これまでは学生全員宛に送っていたが、これからはメーリングリストだけにするので、就職活動中の学生は必ず全員登録すること。

また、内定が取れて不要になったら登録解除も可能。

求人情報の流れ

- 物理教室に届いた場合：
 - ホームページに掲載 (3/1以降) 年間130件程度
 - 求人票は「募集要項2019」にPDFとしてup
 - 会社案内はキャビネットへ
 - 緊急な案件はメールで通知
- キャリア支援課に届いた場合：
 - 就職資料室で閲覧可 (3/1以降)
 - 求人票が就職委員に送付される場合も (教職関係も)
 - 「募集要項2019 (キャリア支援)」にPDFとしてup
 - 定期的にホームページをチェックして下さい

就職活動スケジュール

- スケジュールは経団連の指針だったが
- まずは、業界・企業・会社を研究
- 2月にもある短期間のインターンシップも検討
- 2019年3月1日：就職活動解禁
- 自分に合った職種・企業を探してエントリー
- 物理への求人・募集案内は2-3月がピークで、4月にはほぼ飽和すると予想
- マッチング面談など、非公式な選考は3月から始まる
- 会社/工場見学は今後不可能な貴重な経験
- 2019年6月1日：公式な選考 (面接) 開始
- 6月以前に内諾をもらって、6月の面接で内々定
- 本当の内定は10月1日以降

就職活動の諸注意

- 学業を疎かにすると不利。殆どの場合、研究内容について面接で訊かれる
- キチンと勉強してきたこと、研究成果を持っていること、それ以上に物理出身者としてアピールできることはない。
- 部活動・アルバイト・インターンシップなど、テンプレート通りの回答を企業側は特別に高く評価はしない。
- 自分の考えを自分の言葉で伝える訓練 = 研究活動
- 詳しく調べてから応募すること。見当外れな応募では企業側も困る。
- 実情を知るためにもOB訪問を勧める。どんな人達と仕事をするかは実は一番重要。インターンシップも有効。
- 最終的に推薦状が必要な企業は多い

学校推薦について

- 学校推薦を使う場合は必ず就職委員まで連絡を。
- 推薦状は指導教員に書いてもらうことが原則。
- 人数制限がある場合、内部選考を行うことがある。
- 複数の推薦応募の同時進行は避けて欲しいが、推薦と自由応募は同時進行できるので、推奨する。
- 推薦で内(々)定した場合は、辞退できないと心得よ。
- 推薦で内定をもらいながら入社しなかったとなると、次年度以降の後輩に大きな迷惑をかけることになる。また、良識ある行動ができず、社会のルールを守らない人を、会社は採用したくない。
- 6月1日までは推薦状が出せないで、紹介状で代用
- 推薦のメリットとデメリットを理解しておくこと。

学内外の就職支援組織

- マイナビ： job.mynavi.jp
- リクナビ： job.rikunabi.com
- 日経就職ナビ： job.nikkei.co.jp
- 朝日学情ナビ： www.gakujo.ne.jp
- アカリク (院生のみ)： acaric.jp
- ハローワークインターネットサービス
- みんなの就職活動日記： www.nikki.ne.jp
- 首都大 キャリア支援課 (旧・就職課)
www.gs.tmu.ac.jp/career/
学内企業セミナー (3/1-6, 約200社)
- マイナビとリクナビの両方に登録することを推奨
- 情報は重要だが、取捨選択せよ。情報に踊らされるな！

本当に困ったときに！

- (株) キャリアコンサルティング
プレミアムスタイル (Premium Style)
<http://career-premium.jp>
- 個別に相談すると、企業を紹介してくれる。
- 首都大・物理での実績：
2014年：修士 2名, 2015年：博士中退 1名
2017年：博士 1名, 2018年：修士 1名
- 客観的にみて本人に合った企業を紹介してくれる。企業が費用を負担し、**学生は無料**。実際に御世話になった学生に聞いてみると、雰囲気は悪くなく、会社側から無理矢理要求されることもない。
- 関心のある人 / 相談希望者は田沼まで。

博士について

- 海外では大学院生の殆どが博士課程に進む。
- それが、博士号を取るための唯一の手段。
- 一方、日本には「論文博士」という制度がある。
- 元 職場では博士の大半が論文博士だった。
- 高卒で博士号を持っている人も少なくない。
- 企業で研究をし、論文を書けば、大学から学位が出る。
- これが日本で博士課程進学者が少ない理由の一つ。
- 海外企業の研究職では博士が当たり前。
- 海外では博士でないと研究者として認めてもらえない。
- 悔しくて、帰国後に学位を取った人もいる。
- 2015年から**博士限定の求人**も始まった。

博士への求人

- きっかけは2015年11月の三井物産の募集。
- その後、これまではなかった**博士限定**の求人票が届く。
- 博士卒は経団連指針の適用外 (随時内定が出せる)
- 求人票に「博士卒」が明記されるケースが増加。
- 企業が博士に望むものは？
 - ・ 専門的知識が企業で活かせることは稀。
 - ・ 学位論文の新規な知見・発見も三年経てば常識。
 - ・ **研究する能力**は分野を問わない。
 - ・ 博士号取得者は程度の差はあれ「研究の成功体験者」。
- 私が企業に採用されたのも**研究する能力**を認められたから。
- 会社では応用的な表面物理、その前も後も原子物理。

博士の就職



博士の就職

- 最近の首都大・物理の博士の就職先の大半は民間企業
- 博士の民間企業への就職をサポート
- (株)クリーク・アンド・リバー社 プロフェッサー事業部
<http://www.criprof.com/>
- 文科省 科学技術・学術政策研究所 (NISTEP)
博士人材追跡プロジェクト
- 博士にとってアカデミックな職場だけが選択肢ではない
- 一番優秀な人間が大学に残っているわけではない
- 「やりたいこと」と「やらせたいこと」が一致すれば、民間企業での研究の方が間違いなくスケールが大きくて楽しい！

今後の予定の一部

- 2/14 ICT業界説明会 (富士通)
- 2/19 通信業界勉強会 (NTT東日本)
- 2/22 OBOG懇談会 (オリンパス)
- 3/1-6 学内合同企業説明会
- 3/1 太陽誘電 会社説明会
- 未定 プリヂェストン
- その他、決まり次第、**メール**で告知。
- 3/1以降は、就職情報ホームページにも順次掲載。

就職活動の闇など

- みんな就 (みんなの就職活動日記) : www.nikki.ne.jp
- SNSによる学生間の情報交換の是非
- インターンシップからの早期選考 (本来なら非合法?)
- 1day ISや工業見学参加者への優遇
書類選考をパス、リクレーターがESを添削, など
- 推薦応募の内定率, 自由応募の採用枠
- 大企業志向で本当に良いの? 中小企業の本当の価値
- 何を, 何処で, より「誰」と仕事をするのが重要
- 第二新卒は甘くない。転職によるキャリアアップとは違う
- 日本の就職活動・求人方法 (新卒一括採用) は世界的には異常

参考書籍

- 就職活動に関する**マニュアル**は薦めない。
- 森博嗣「やりがいのある仕事」という幻想 (朝日新書)
- 身も蓋もない話: 何故、就職するのか? = 生きるため。
- 現代社会で生きるためにはお金を稼ぐ必要がある。
- 稼ぐには仕事をするのが一番簡単。
- 仕事をするために生きる?? 生きるために仕事をする!

石渡嶺司, キレイゴトぬきの就活論 (新潮新書)
石渡嶺司, 女子学生はなぜ就活で騙されるのか (朝日新書)
海老原嗣生, お祈りメール来た、日本死ぬ (文春新書)
北野正人・佐川健太郎, 就活ジプシー (経営者新書)